

物流関大会 NEWS



No.53 | 2021年8月号
[発行] 物流関大会 事務局



物流関大会

「物流関大会NEWS」は、物流関連業界で活躍する関西大学出身OB・OGで結成された「物流関大会」(会長: 福田泰久センコーグループホールディングス(株)社長)の会員交流ニュースコーナーです。物流関大会の広報誌として本誌を毎月会員に配布し、会の活動報告や行事予定、会員ニュースを情報発信しています。今回は、会員企業紹介②として、(株)大木組をご紹介します。

会員企業紹介② (株)大木組

港湾荷役等のトータル物流を強みに、危険物保管と海外展開

◆古き歴史と新しき経営をモットーに

港湾荷役、倉庫、運送、保税、通関取次等、一貫でトータル物流サービスを提供している(株)大木組は、明治25年の創業で、近年は総務省より信書便の許可、税関より保税蔵置場の許可も取得した、歴史ある老舗の総合物流企業です。

堺港で港湾荷役並びに廻送業を創業し、石炭を主な取扱品として営業を開始。百数十年間、一貫して同事業及び、これに付帯する貨物自動車による陸上運送業を兼業しています。この間、経済情勢の変遷、あるいは戦時中の強制的な企業統合等を背景に、事業経営の消長はあったものの、幾多の困難を経て、事業の発展拡大に努めてきた歴史があります。同社

の大木淑弘社長は、「永年にわたり、堺港で荷役並びに運送事業をもって終始一貫、堺港の発展と共に事業を拡大し、古き歴史と新しき経営をモットーに、常に荷主様に身に余るご信頼を賜り、かつそのご援助により経営しています」と語ります。

近年の取り組みとしては、平成20年から危険物貨物の保管をスタート。さらに保税蔵置場を利用し、輸出、輸入におけるコンテナ作業を行っており、通関の取次も拡大しています。同社は港湾荷役、倉庫、運送、保税、通関取次を行うトータル物流を中心に、私有岸壁、クレーンを所有し、バラ貨物の取り扱いにも対応しています。今後も引き続き、危険物保管と海外展開に注力していく構えで、海外運送事業者とのネットワーク構築にも取り組んでいます。「危険物のことでしたら、是非物流関大会の会員の皆様のお役に立ちたいと思っていますので、是非お声がけ下さい」(大木社長)

◆「ミライから必要とされる会社を目指す」
このほか、安全教育も熱心に実施して



大木淑弘代表取締役社長

おり、国交省等が認定している安全性優良事業者(Gマーク)の認証を取得。バラ貨物の荷役が行える数少ない港湾荷役業者並びに、数少ない信書便許可業者として、堺の優れた製品や技術を有し、かつ地域の発展に貢献する企業に与えられる堺ブランド「堺技衆」に認定されました。加えて、国交省の外郭団体である交通エコロジー・モビリティ財団からグリーン経営認証を受け、環境保全活動にも取り組んでいます。

大木社長は新たな経営理念として、「私たちは、安全・安心・確実をお客様と約束し、ミライから必要とされる会社を目指します。」を策定。会社の文化、従業員の行動指針とし、社会への貢献に努めるほか、会社の歴史、豊富なノウハウによる顧客との長い取引信用関係を維持、継続すると共に、社内管理体制を整備し、収益性の向上を図っていく方針です。

■(株)大木組の会社概要

本 社	大阪府堺市堺区北波止町42番47 TEL.072-232-2184 / FAX.072-232-0537
創 業	明治25年
設 立	昭和25年2月10日
資 本 金	1,000万円
事業内容	港湾荷役業、一般貨物自動車運送業、倉庫業
代 表	代表取締役社長 大木淑弘

問い合わせ先

物流関大会の入会案内・行事案内/会員短信向け投稿等の問い合わせは下記までお願いします。

物流関大会 幹事長

栗尾尚孝(大和運送(株) 代表取締役)

T E L 072-626-7235

E-mail kurion@yamato-unso.co.jp



⑤大木組の新聞広告 ⑥大木組の危険品倉庫